

金ヶ崎町上下水道事業告示第2号

公営企業の業務の状況の公表について

「財政事情」の作成及び公表等に関する条例第4条の規定により、金ヶ崎町水道事業にかかる業務の状況について、別紙のとおり公表する。

令和8年5月29日

金ヶ崎町長 高橋 文 浩



- 1 公表する事項 令和7年度下期水道事業業務状況
- 2 閲覧場所 金ヶ崎町上下水道課

## 令和7年度下半期水道事業経営状況

### I. 使用水量について

1. 下期全体水量は 1,210,904 m<sup>3</sup>で、前年度同期（1,181,110 m<sup>3</sup>）に比べ 2.5%増加しています。上半期は前年度を下回りましたが、下半期は全体的に前年度を上回る使用状況でした。全期の水量は 2,409,544 m<sup>3</sup>となり前年度 2,380,963 m<sup>3</sup>に比べ 1.2%増加しています。
2. 家庭用水量については 539,625 m<sup>3</sup>で、前年度同期（528,189 m<sup>3</sup>）に比べ 2.2%増加しています。全期では 1,093,903 m<sup>3</sup>であり前年度 1,077,300 m<sup>3</sup>に比べ 1.5%増加しています。加入件数は、3 月末現在では 6,336 件（前年度 6,184 件）になっており 152 件増加しています。
3. 営業用水量については 121,018 m<sup>3</sup>で、前年度同期（104,378 m<sup>3</sup>）に比べ 15.9%増加しています。全期では 237,512 m<sup>3</sup>であり、前年度 212,556 m<sup>3</sup>に比べ 11.7%増加しています。
4. デンソーについては 335,131 m<sup>3</sup>で、前年度同期（332,089 m<sup>3</sup>）に比べ 0.9%増加しています。全期では 626,452 m<sup>3</sup>となり、前年度 636,329 m<sup>3</sup>に比べ 1.4%減少しています。
5. 工業用（デンソー除き）については 142,663 m<sup>3</sup>で、前年度同期（142,326 m<sup>3</sup>）に比べ 0.2%増加しています。全期では 297,243 m<sup>3</sup>であり、前年度 280,610 m<sup>3</sup>に比べ 5.9%増加しています。

区 分		家庭用	営業用	団体用	工業用 デンソー	工業用 (デンソー除き)	公衆用	臨時用	計
有収水量 (m <sup>3</sup> )	下期	539,625	121,018	67,558	335,131	142,663	2,442	2,467	1,210,904
	全体	1,093,903	237,512	142,943	626,452	297,243	4,509	6,982	2,409,544
前年有収水量 (m <sup>3</sup> )	下期	528,189	104,378	71,113	332,089	142,326	434	2,581	1,181,110
	全体	1,077,300	212,556	153,525	636,329	280,610	3,474	17,169	2,380,963
増 減 (m <sup>3</sup> )	下期	11,436	16,640	△3,555	3,042	337	2,008	△114	39,772
	全体	16,603	24,956	△10,582	9,877	16,633	1,035	△10,187	28,581
前年比 (%)	下期	102.2	115.9	95.0	100.9	100.2	562.7	94.6	102.5
	全体	101.5	111.7	93.1	98.4	105.9	129.8	40.7	101.2

## Ⅱ. 財政状態について

### 1. 収益的収入及び支出（税抜き）

#### （1）営業収益

下期営業収益は 183,149 千円であり、前年度同期（177,183 千円）と比べて 3.4% 増加しています。給水収益は 162,835 千円であり、前年度同期（158,548 千円）と比べて 2.7% 増加しています。全期では営業収益が 344,609 千円であり前年度 338,189 千円と比べて 1.9% 増加となっています。

#### （2）営業費用

下期営業費用全体では 190,772 千円であり、前年度同期（205,849 千円）と比べて 7.3% 減少しています。全期では 341,414 千円であり、前年度 357,119 千円に比べ 4.4% 減少しています。主な減少要因としては、原水・浄水費の人件費、修繕費、薬品費や、配水・給水費の人件費、動力費及び総務費の人件費、委託料などです。

#### （3）営業外収益

下期営業外収益は 29,772 千円であり、前年度同期（15,827 千円）と比べて 88.1% 増加しています。全期では 50,620 千円であり、前年度 50,225 千円に比べ 0.8% 増加しています。主な減少要因としては、受取利息の増加です。

#### （4）営業外費用

下期営業外費用は 2,685 千円であり、前年度同期（2,498 千円）と比べて 7.5% 増加しています。これは特定収入分支払消費税の増によるものです。

#### （5）経常利益

下期の経常利益が△19,414 千円となり、前年度同期の経常利益は△15,337 千円となっています。これにより令和 7 年度決算では 51,119 千円の純利益を見込んでいます。これは前年度（28,742 千円）よりも 77.9% 増加しています。

### 2. 資本的収入及び支出（税込み）

主な建設改良費の支出状況は次のとおりです。（500 万円以上）

西根南羽沢地区配水管布設替工事	43,742,600 円
永沢広本地区配水管布設替工事	24,830,000 円
西根和光地区配水管布設替工事	31,324,700 円
消火栓更新工事	5,580,300 円
高谷野原浄水場制御盤更新工事	26,840,000 円
西根高谷野原地区配水管布設替工事	9,226,800 円

## 令和7年度 損益計算書

収益的収入及び支出

(消費税抜き) (単位:千円)

科 目	令和7年度上半期		令和7年度下半期		令和7年度全期		令和6年度全期		前年比
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
営業収益	161,460	100.0	183,149	100.0	344,609	100.0	338,189	100.0	101.9
給水収益	160,980	99.7	162,835	88.9	323,815	94.0	319,065	94.3	101.5
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
その他の営業収益	480	0.3	20,314	11.1	20,794	6.0	19,124	5.7	108.7
営業費用	150,642	100.0	190,772	100.0	341,414	100.0	357,119	100.0	95.6
原水及び浄水費	48,827	32.4	62,596	32.8	111,423	32.6	116,626	32.7	95.5
配水及び給水費	13,276	8.8	29,421	15.4	42,697	12.5	35,678	10.0	119.7
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
総係費	23,955	15.9	33,193	17.4	57,148	16.7	70,921	19.9	80.6
減価償却費	64,584	42.9	64,600	33.9	129,184	37.8	131,912	36.9	97.9
資産減耗費	0	0.0	962	0.5	962	0.3	1,982	0.6	48.5
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
営業利益	10,818	-	△ 7,623	-	3,195	-	△ 18,930	-	-0.2
営業外収益	20,898	100.0	29,722	100.0	50,620	100.1	50,225	100.0	100.8
受取利息及び配当金	703	3.4	844	2.8	1,547	3.1	436	0.9	354.8
加入者負担金	4,278	20.5	3,680	12.4	7,958	15.7	8,188	16.3	97.2
他会計補助金	5,578	26.7	16,843	56.7	22,421	44.4	23,161	46.2	96.8
長期前受金戻入	7,253	34.7	7,413	24.9	14,666	29.0	14,534	28.9	100.9
引当金戻入益	2,935	14.0	267	0.9	3,202	6.3	3,236	6.4	98.9
雑収益	151	0.7	675	2.3	826	1.6	670	1.3	123.3
営業外費用	0	0.0	2,685	100.0	2,685	100.0	2,498	100.0	107.5
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
雑支出	0	0.0	2,685	100.0	2,685	100.0	2,498	100.0	107.5
経常利益(△損失)	31,716	-	19,414	-	51,130	-	28,797	-	177.6
特別利益	0		0		0		0		0.0
固定資産売却益	0		0		0		0		-
過年度損益修正益	0		0		0		0		0.0
その他特別利益	0		0		0		0		-
特別損失	11		0		11		55		20.0
手当	0		0		0		0		-
固定資産売却損	0		0		0		0		-
過年度損益修正損	11		0		11		55		20.0
その他特別損失	0		0		0		0		-
当年度純利益(△純損失)	31,705	-	19,414	-	51,119	-	28,742	-	177.9
前年度繰越利益剰余金	0		0		0		0		-
その他未処分利益剰余金変動額	0		0		0		0		0.0
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	31,705	-	19,414	-	51,119	-	28,742	-	177.9

# 比較貸借対照表

(単位:千円)

科 目	令和5年度		令和6年度			令和7年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
<b>固定資産</b>	<b>2,659,988</b>	<b>76.9</b>	<b>2,704,074</b>	<b>78.2</b>	<b>101.7</b>	<b>2,711,495</b>	<b>77.1</b>	<b>100.3</b>
有形固定資産	2,656,014	76.8	2,701,921	78.1	101.7	2,711,162	77.1	100.3
土地	44,028	1.3	52,204	1.5	118.6	52,204	1.5	100.0
建物	109,080	3.2	96,801	2.8	88.7	84,523	2.4	87.3
構築物	2,409,079	69.7	2,426,843	70.2	100.7	2,430,250	69.1	100.1
機械及装置	87,900	2.5	121,994	3.5	138.8	139,338	4.0	114.2
車両運搬具	1,955	0.1	1,501	0.0	76.8	2,657	0.1	177.0
工具器具及備品	3,693	0.1	2,334	0.1	63.2	1,127	0.0	48.3
その他有形固定資産	279	0.0	244	0.0	87.5	208	0.0	85.2
建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0.0	855	0.0	0.0
無形固定資産	3,974	0.1	2,153	0.1	54.2	333	0.0	15.5
電話加入権	333	0.0	333	0.0	100.0	333	0.0	100.0
ソフトウェア	3,641	0.1	1,820	0.1	50.0	0	0.0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>798,531</b>	<b>23.1</b>	<b>753,416</b>	<b>21.8</b>	<b>94.4</b>	<b>804,796</b>	<b>22.9</b>	<b>106.8</b>
現金預金	768,733	22.2	723,272	20.9	94.1	775,747	22.1	107.3
未収金	25,477	0.7	25,906	0.7	101.7	24,136	0.7	93.2
未収金貸倒引当金	△ 300	0.0	△ 300	0.0	100.0	△ 200	0.0	66.7
貯蔵品	2,921	0.1	2,838	0.1	97.2	3,413	0.1	120.3
前払金	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
その他流動資産	1,700	0.0	1,700	0.0	100.0	1,700	0.0	100.0
<b>資産合計</b>	<b>3,458,519</b>	<b>100.0</b>	<b>3,457,490</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>3,516,291</b>	<b>100.0</b>	<b>101.7</b>
<b>固定負債</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
企業債	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
<b>流動負債</b>	<b>82,418</b>	<b>2.4</b>	<b>53,371</b>	<b>1.5</b>	<b>64.8</b>	<b>70,644</b>	<b>2.0</b>	<b>132.4</b>
企業債	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
未払金	52,937	1.5	34,577	1.0	65.3	52,244	1.5	151.1
引当金	15,051	0.4	15,048	0.4	100.0	14,822	0.4	98.5
賞与引当金	2,938	0.1	2,935	0.1	99.9	2,709	0.1	92.3
修繕引当金	12,113	0.4	12,113	0.4	100.0	12,113	0.3	100.0
預り金	12,730	0.4	2,046	0.1	16.1	1,878	0.1	91.8
その他流動負債	1,700	0.0	1,700	0.0	100.0	1,700	0.0	100.0
預り有価証券	1,700	0.0	1,700	0.0	100.0	1,700	0.0	100.0
<b>繰延収益</b>	<b>335,828</b>	<b>9.7</b>	<b>326,927</b>	<b>9.4</b>	<b>97.3</b>	<b>317,335</b>	<b>8.9</b>	<b>97.1</b>
長期前受金	1,129,135	32.6	1,134,769	32.8	100.5	1,139,842	32.4	100.4
長期前受金収益化累計額	△ 793,307	△ 22.9	△ 807,842	△ 23.4	101.8	△ 822,507	△ 23.5	101.8
<b>資本金</b>	<b>2,584,337</b>	<b>74.7</b>	<b>2,584,337</b>	<b>74.7</b>	<b>100.0</b>	<b>2,584,337</b>	<b>73.5</b>	<b>100.0</b>
自己資本金	2,584,337	74.7	2,584,337	74.7	100.0	2,584,337	73.5	100.0
<b>剰余金</b>	<b>455,936</b>	<b>13.2</b>	<b>492,855</b>	<b>14.3</b>	<b>108.1</b>	<b>543,975</b>	<b>15.6</b>	<b>110.4</b>
資本剰余金	795	0.0	8,972	0.3	1128.6	8,972	0.3	100.0
受贈財産評価額	795	0.0	8,972	0.3	1128.6	8,972	0.3	100.0
利益剰余金	455,141	13.2	483,883	14.0	106.3	535,003	15.3	110.6
減債積立金	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
建設改良積立金	421,306	12.2	455,141	13.2	108.0	483,884	13.8	106.3
当年度未処分利益剰余金	33,835	1.0	28,742	0.8	84.9	51,119	1.5	177.9
(うち当年度純利益)	33,835	1.0	28,742	0.8	84.9	51,119	1.5	177.9
<b>負債資本合計</b>	<b>3,458,519</b>	<b>100.0</b>	<b>3,457,490</b>	<b>99.9</b>	<b>100.0</b>	<b>3,516,291</b>	<b>100.0</b>	<b>101.7</b>

# 令和8年度金ヶ崎町水道事業会計予算編成方針

## 1. 基本方針

令和8年度の使用水量は、令和7年度から引き続き安定的な使用を見込んでいます。しかし、景気の動向に使用水量が大きく左右される工業用の比率が高く、また老朽化が進んでいる浄水施設や配水管などの維持管理費や更新事業費が増大していくと見込まれることから、水道事業の経営は不安定な要素を抱えています。

令和8年度は、引き続き水道事業の健全運営に努めていくとともに、健全で持続可能な水道事業を目指し、令和4年度に策定した「金ヶ崎町水道事業基本構想（地域水道ビジョン）」の施策を着実に進めて参ります。

## 2. 重点事項

- (1) 安全でおいしい水の安定的な供給のために施設等の適正な管理に努めるとともに、金ヶ崎町水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的に施設・設備の修繕や更新を進めます。
- (2) 料金徴収業務の民間委託等により引き続き経費節減や収納率向上などに取り組み、水道事業の健全運営に努めます。

## 3. 具体的な取り組みと目標

- (1) 千貫石水源と高谷野原水源を中心とした給水体系を維持するとともに、施設や配水管などの維持管理・保守点検や漏水調査により、老朽施設の設備や配水管の更新に向けた事業を進め、安全な水の安定的な供給を維持します。
- (2) 安全でおいしい水の安定的な供給を図るため、「金ヶ崎町水安全計画」に基づき水質検査を実施し、その情報を公開します。
- (3) 収納率向上のため、滞納者への納付相談や徴収業務を強化します。
- (4) 安定的な収益増と安全な水の供給のため、加入者の拡大に取り組みます。具体的には、6月の「水道週間」を中心に安全な水のPRを行うとともに、今後の水道事業の状況について、広報等において町民にお知らせしていきます。

## 令和8年度水道事業会計予算概要説明

### 1. 収 益

令和8年度は、総給水量及び有収水量は若干の増加と見込まれ、用途ごとでは営業用、工業用の使用量が増加、家庭用、団体用等は前年度と同程度の見込であり、全体での料金収入は、前年度比102.4%、8,170千円の増額を見込んでいます。**営業収益**全体では102.2%、8,159千円の増額となっております。

**営業外収益**では、加入者負担金は前年度と同額、一般会計補助金は前年度比95.0%、1,188千円の減少、長期前受金戻入は前年度比101.1%、159千円の増加を見込んでいます。営業外収益全体では、前年度比98.3%、874千円の減額見込みとなっております。

そのため**水道事業収益**は423,407千円を見込み、前年度比7,285千円の増額となる予算措置をしています。

### 2. 費 用

**営業費用**は、前年度比100.8%、3,197千円の増額となっております。このうち**原水及び浄水費**は、前年度比101.4%、2,111千円の増額となっています。これは委託料及び薬品費等の増額によるものです。

**配水及び給水費**は前年度比107.5%、3,064千円の増額となっています。これは委託料及び手数料、修繕費等の増額によるものです。

**総係費**は、前年度比96.8%、2,048千円の減額となっています。これは人件費の減額が主な要因です。

**減価償却費**は前年度比100.4%、570千円の増、**資産減耗費**は前年度比50.0%、500千円の減になります。

**営業外費用**は前年度比72.2%、1,084千円の減額となっています。これは消費税及び地方消費税の減額が主な要因です。

**特別損失**では、前年度と同額を見込んでいます。

これらにより、**水道事業費用**では前年度比100.5%、2,113千円の増額になっており、収益的収入及び支出では18,114千円の黒字を予定しています。

**資本的収入**では、前年度比0.02%、5,938千円の減になります。

**資本的支出**では、**建設改良費**は原水浄水費が前年度比44.5%、22,476千円の減額、送水配水施設費が前年度比104.6%、6,185千円の増額、**営業設備費**が前年度比52.8%、2,154千円の減額となっています。建設改良費全体では、89.6%、18,445千円の減額

となっております。

**企業債償還金**は令和4年度に償還が完了しており令和8年度は予算計上ありません。

**資本的収入の不足額** 159,700 千円は、

当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 13,969 千円

過年度分損益勘定留保資金 145,731 千円で補てんいたします。